

<p>1. 主眼</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間と連携してゴール前の空間に走り込んだり、空間を作り出すための動きができるようにする。 見方が操作しやすいパスを出した後に次のパスを受けるための動きができるようにする。 <p>2. 指導上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 仲間とのコミュニケーションを大切にしながるパスをつなげさせる 相手の動きを見て空間を探し、積極的に走り込ませる 記録された自分のデータを見て分析し、次ゲームに向けての課題を明確にさせる <p>3. 評価</p> <p>【 関心・意欲・態度 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に練習している 自分の役割を全うしている <p>【 思考・判断 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントに注意し、練習している <p>【 技能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントを理解し、実践できる <p>【 知識・理解 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントを理解している
--

めあて 仲間とパスをつなぎながら相手コートにボールを運ぼう

- ①サイドライン沿いに2つのチームが交互に並ぶ。
- ②対戦チームが整列している後方からスローインして（ルーズボールから）試合開始（試合時間2分30秒）。
- ③自チームでパスを回しながら斜線部へボールを運ぶ。
- ④ドリブルを使用すること、初めから斜線部内でボールを待つことは禁止とする。

ゲーム① 「タッチダウンゲーム（4対4）」

本時の流れ

1. 準備体操・補強運動（グループごと）
2. 前回の復習と本時の説明
3. ゲーム①「突破ゲーム（5対3）」
4. ゲーム②「タッチダウンゲーム（4対4）」
 - ・ 作戦タイム
 - ・ リーグ戦（ワークシートを用いてゲーム分析も同時に行う）
 - ・ 振り返り（グループごとにゲーム分析結果を用いて）
5. 本時のまとめ

○主なルール

- ①ドリブルなし（シュートの際は3歩まで可）
- ②初めからペイント内でボールを待つことは禁止
- ③コート外にボールが出た際は、スローインで再開

構造図	ゴール型 ハンドボール 3年	
目指すゲームの様相	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と連携してゴール前の空間に走り込んだり、空間を作り出すために準備を引きつける動きができるようにする。 味方が操作しやすいパスを出した後に、次のパスを受けるための動きができるようにする。 	
工夫したゲーム	<p>○タッチダウンゲーム（4対4）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サイドライン沿いに2つのチームが交互に並ぶ。 ②対戦チームが整列している後方からスローインして（ルーズボールから）試合開始（試合時間2分30秒）。 ③自チームでパスを回しながら斜線部へボールを運ぶ。 ④ドリブルを使用すること、初めから斜線部内でボールを待つことは禁止とする。 	
必要となる基礎的技能	<ul style="list-style-type: none"> ボールキャッチ ショルダーパス アンダーハンドパス リストパス バウンドパス フェイント 1対1の攻防 	<p>練習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールハンドリング ドリブルハンドリング 四角鬼 ニックネームパス 投げ上げキャッチ 2メンパッシング
考えられる作戦	<ul style="list-style-type: none"> パス&ラン パスフェイク カットインプレー 	
ゲームの分析	<ol style="list-style-type: none"> ①ペアを作り動いた場所を線で記録する。 ②ボールをもらった場所（保持した場所）には丸をつける。この際、自コート・相手コートのどちらで受けたかが分かるように記録する。 	

